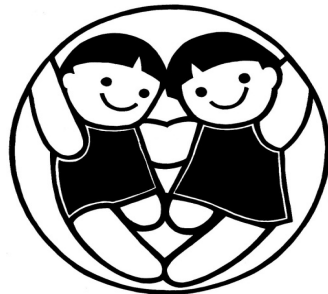


# 第 50 回 東京の学童保育研究集会 オンライン開催

コロナ禍から未来の希望へ！！

～ つながりあって 共につくろう豊かな放課後 ～



東京の学童保育研究集会 (FB) で検索！



開催日：2022年 **6月26日(日)** 10時～ (入室開始9時30分)

参加費：一人 2,500円

開催方法：オンラインビデオ会議アプリの ZOOM を使用

- ※ 1つの端末で複数の方にご受講いただくことは可能です。ただし、代表者がまとめて受講する人数分のお申込みをお願いします。複数で受講される場合はできるだけPC、タブレットでお願いします。
- ※ 安定した受講環境の確保のため、PC、タブレットのインターネットへの接続は、Wi-Fiではなく、LANケーブルを使った有線接続をお勧めします。

申込み締め切り日：6月19日(日) 18:00

※ 〆切日以降のお申込みはできません。

9:30 10:00 12:00 13:00 13:30 16:30

入室 開始	全体会 (基調報告・記念講演ほか)	休 憩	入室 開始	分科会
----------	-------------------	--------	----------	-----

- ◎ 開会挨拶
- ◎ 基調報告 東京都学童保育連絡協議会
- ◎ 特別報告「コロナ禍における学童保育」 指導員から/保護者から
- ◎ 記念講演 **杉田 真衣**さん (東京都立大学准教授)

テーマ『子どもと共にいまを生きる』

～ かけがえのない子ども時代を保障するために私たちにできること～

主催：東京都学童保育連絡協議会 / 後援：東京都

## 《記念講演紹介》

この2年間にわたり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学童保育は「原則開所」しながら、「3密」を避けることが求められてきました。長引くコロナ禍において、子どもたちは、「感情のコントロールが難しい」「他者とのかかわりを避ける」「『死』を必要以上に恐れる」などの姿を介して、抱えてきた不安を訴えてきました。しかし、不安を何らかの形で表出することができる子どもばかりではありません。生きづらさを内に秘め、悩みや葛藤を抑え込む子どもたちもいるかもしれません。

コロナ禍において、不安や悩み、葛藤を抱えてきたのは、保護者や指導員も同様です。人と人とのかかわりが希薄になることで、保護者同士、指導員同士、または保護者と指導員がともに支え合う関係をつくりにくくなっています。

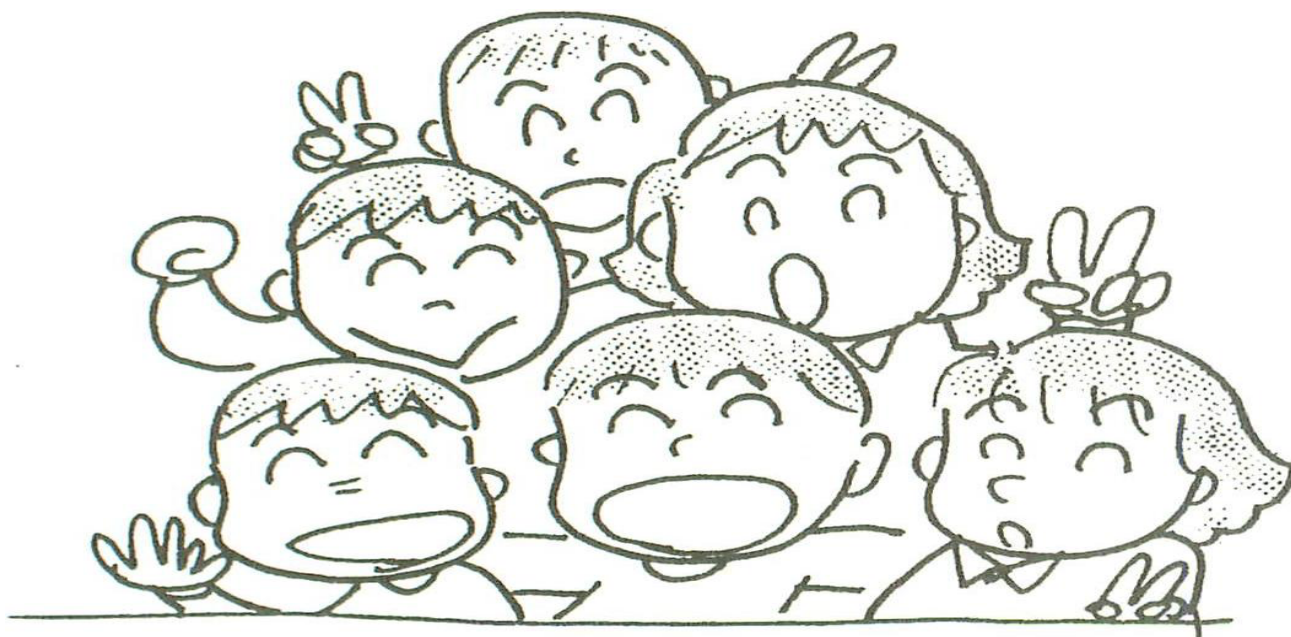
学童保育の役割は、安全に安心して過ごせる継続的な「生活の場」を一人ひとりの子どもに保障することにより、保護者の就労等を支えることにあります。

学童保育に求められる役割を改めて確かめ、子ども、保護者、指導員それぞれが大切にされ、「共にいまを生きる」ことについて、考えてみましょう。

## 《杉田真衣さんのプロフィール》

1976年生まれ。東京都立大学人文社会学部准教授。専門は教育学（ジェンダー・セクシュアリティと教育、青年論）。著書に『高卒女性の12年—不安定な労働、ゆるやかなつながり—』（大月書店、2015年）、共編著に『大人になる・社会をつくる—若者の貧困と学校・労働・家族』（明石書店、2020年）、『市民性を育てる生徒指導・進路指導』（大学図書出版、2020年）がある。

『日本の学童ほいく』2021年4月号～9月号講座「子どもと共にいまを生きる」を執筆。





## 1. <入門講座> 学童保育ってどんなところ！？

<講師> 北村 理絵（目黒区指導員）

コロナ禍3年目の学童保育は、子どもにとってどんなところになっているのでしょうか？ 子どもはどのような生活をし、どんなあそびをしているのでしょうか？ 子ども同士のかかわりや保護者とのかかわりが持ちにくくなっているなか、学童保育の役割や大切にしたいことについて、確かめ合いましょう。

---

## 2. <交流> 学童保育の生活づくり

東京都学童保育連絡協議会では、子ども・指導員・保護者がともに行う「子ども一人ひとりと、子どもたちの生活内容を豊かにするための継続的な営み」を「生活づくり」と呼んで大切にしてきました。子ども・指導員・保護者それぞれが主体者として、学童保育での子どもの生活を考え、つくることの大切さについて、交流しましょう。

---

## 3. <交流> 1人じゃない！保護者と指導員で一緒に子育て

～子どものこと、伝えあっていますか？～

放課後の豊かな生活は、子どもと保護者、指導員がかかわることによって、作りだされます。しかし、新型コロナウイルス感染症対策により、それぞれのかかわりが持ちづらくなっています。保護者と指導員が子どものことを伝え合うことの大切さを交流しましょう。

---

## 4. <講座と交流> 全国の学童保育施策の現状と課題（情勢）

<講師> 高橋 誠（全国学童保育連絡協議会）

コロナ禍において、学童保育への社会的認知が広がる一方で、「従うべき基準（指導員の資格と配置人数）」の参酌化、大規模化、施設・設備の不十分さ、運営主体の多様化、指導員の処遇改善など、施策そのものがもつ脆弱性も明らかになりました。国や東京都の動向から学童保育の課題を明らかにし、より良くするために何が必要なのかを学びます。

---

## 5. <交流> 委託化を考える

公設公営学童保育の民間委託が進み、現在、23区の支援の単位数は、公設民営が公設公営を上回ります。委託にあたっては、安定的運営の保証など、様々な懸念があることでしょう。都は学童保育の質を担保するため、新たに第三者評価受審費の補助を予算化しましたが、国による第三者評価制度の検討時には「利用者による選択を通じた提供者間の競争がサービスの質の向上につながるようにする」という考えも示されていたことも、認識しておく必要があります。本分科会では、こうした動向を確認するとともに、行政責任を後退させないという切り口から、委託化の問題を考えます。

---

## 6. <交流> 保護者がつながる

学童保育は「安心して働きたい」という保護者の願いからつくられました。コロナ禍において、保護者同士が直接顔を合わせる機会が激減しました。そのようななかで、保護者同士がつながることの意味や、そのことが子どもの放課後の生活や未来に与える影響、今私たちにできることについて交流しましょう。

---

## ■お申込み方法

6月19日（日）18：00までに、参加費（2500円・1人）を下記の振込先へ入金してください。

### 1) 個人申込みの場合

- 下記のURLからお申込みください。右のQRコードからも入れます。
- 送信後、申込み内容のコピーがメールで届きます。当日まで削除しないようお願いします。



【申込みフォーム】 <https://forms.gle/SH3LTSZJw9M9TUtw9>

### 2) 2名以上で申込みの場合

- 複数の参加者（1つの端末で複数の方が受講される場合を含みます）の申込みに関しては、団体申込用エクセルファイルを、<http://www.toshima.ne.jp/~gakuho/token.html> からダウンロードして、東京都学童保育連絡協議会 [to\\_gakuho\\_1962@a.toshima.ne.jp](mailto:to_gakuho_1962@a.toshima.ne.jp) へ締切日より前に送信してください。
- メール送信後、3日経過しても申込みを受付けた旨のメールが届かなければ、再度メールでお問い合わせをお願いします。

## ■振込先

- 郵便振替：00150-9-317500 □座名義 東京都連協
- 銀行振込：ゆうちょ銀行 支店名：019(ゼロイチキュウ)  
預金：普通 □座番号：317500  
□座名義：東京都連協(トウキョウトレンキョウ)
- 可能であれば、振込人名の後に「0626」と入力して頂けると助かります。
- 振込手数料については個人負担になります。ご了承ください。
- お申込み後のキャンセル及び返金はできません。

## ■お願い

- 今回の東京の学童保育研究集会は、オンラインビデオ会議アプリのZOOMを使用します。  
<https://zoom.nissho-ele.co.jp/blog/manual/zoom-install.html>  
などを参考に、必ず事前にダウンロードしてください。
- 1つの端末で複数の方にご受講いただくことは可能です。  
但し、複数で受講される場合はできるだけPC、タブレットでお願いします。
- 本研究集会の資料は6月20日（月）以降、ダウンロードが可能な形でお送りします。
- 全体会と分科会のZOOMのURL、ミーティングID、パスコードもメールでお送りします。

## ■お問い合わせ先

東京都学童保育連絡協議会 〒170-0004 東京都豊島区北大塚 3-25-11 はまやビル 2階

E-mail [to\\_gakuho\\_1962@a.toshima.ne.jp](mailto:to_gakuho_1962@a.toshima.ne.jp)

ホームページ <http://www.toshima.ne.jp/~gakuho/index.html>

